

退職のごあいさつ

宮澤 サチ子

私、この度、12月31日付けをもって黒磯観光開発(株)を退職致しました。昭和48年入社以来、オーナーの皆様には温かいご厚情を賜り、大変楽しく勤めさせていただきましたことを心から厚くお礼申し上げます。白笹のご発展とオーナーの皆様のご多幸をお祈り申し上げ、退職のごあいさつとさせていただきます。長い間ありがとうございました。

管理事務所からのお知らせ

10月から11月にかけて暖かい日が続き、白笹の紅葉も今ひとつだった気がします。

11月16日に初雪が降り、その後、12月中旬まで道路が白くなる程度の積雪が数回ありましたが、日中にほとんど解けてしまいました。12月17日に10cm程の積雪があり、気温もかなり低くなりました。これから厳寒期になりますので、来荘の際の準備は万全にお願い致します。

◎路面凍結にご注意

凍結路面では、スタッドレスタイヤのみでは対応できないことがありますので、必ずタイヤチェーンを準備して下さい。

なお、夕方から夜間は積雪や路面凍結のため危険ですので、早めに入荘されることをお勧めします。

◎入荘・退荘時のご連絡について

冬期間入荘される際は、事前に道路状況・積雪状況等、管理事務所にお問い合わせ下さい。(ご連絡が有りませんと、除雪が間に合わず、入荘出来ない場合があります。)

なお、入荘中に水道の凍結等があった場合は、速やかに対応する必要がありますので管理事務所にご相談下さい。



◎水道水への放射能物質の混入について(平成23年11月25日採水の結果)

測定結果

| 測定項目 | 測定結果 | 暫定規制値 |
|---------|--------|----------|
| 放射性ヨウ素 | I-131 | 不検出 |
| | Cs-134 | 不検出 |
| 放射性セシウム | Cs-137 | 不検出 |
| | Cs-136 | 不検出 |
| | | 200Bq/kg |

*食安発0317第3号において100Bq/kgを超えるものは、乳幼児調整粉乳及び直接飲用に供する乳に使用しないよう指導されています。

編集室より

新しい年も明け、皆さんにとりまして今年が佳き年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

さて今年は辰年。

辰はおめでたい印、吉兆として最高の文様で、権力の象徴であったようです。また辰年の人は、知識欲旺盛で冒険や夢を追いかけるロマンチストと言われていました。天を駆け昇ることから、リーダーになる方も多いようで、気位が高く、スケールの大きい個性豊かな性格とされています。表面的には静かで一見温和に見えますが、常に高い理想を持ち、自尊心の強い人が多いらしく、芸術的、専門的分野で優れた才能をもち、直観力、集中力、実行力が人並み以上にありとされていますが、一方気まぐれで怠惰となり、せっかくの才能を発揮できないことも・・・。

一般的に言われていることを並べましたが、辰年の方がいいですか？

当てはまってる部分などありましたか？必ずしも辰年の方がこういった性格とは限りませんので、あくまでご参考程度に・・・。

編集室ではオーナーの皆様から、「白笹だより」に掲載させていただく写真や絵画、詩歌、エッセイなどを募集しております。作品のジャンルは問いませんので、どうぞお気軽にお寄せください。ご投稿お待ちしております。



編集発行
黒磯観光開発株式会社
本社・現地管理事務所

〒325-0111
栃木県那須塩原市板室字白湯山1173-31
☎0287(69)0331(代)

白笹だより

No.123

2012.1



雪の中の祈り

那須高原有料道路の入り口近くに史跡「殺生石」があります。もともとは硫黄や熱湯などが噴出するいわゆる「地獄」だったところですが、今は川の上に架けられた長い橋をのんびりと歩いて回れ、その先の賽の河原に無数に並ぶお地蔵様の「千体地蔵」が見えて来ます。赤・白の帽子をかぶり両手を合わせた姿は一心不乱の祈願を思わせているようです。地蔵群の一番奥まったところにひときわ大きなものがあり、「教伝地蔵」の由来と書かれた札が立っていて『昔、教伝という不良僧侶がいましたが、ある日友人と那須へ湯治に出かける際、母の用意したお膳を足蹴りにした天罰により殺生石の火の海地獄に落ち、息を引き取りました...』。詳細は不明ですが、教伝に対する哀れみからか、我が子を供養する親心の現れであろうか、いつしか地蔵尊が建てられました。現在では毎年5月の第三日曜日に供養祭が行われていて千体地蔵は、「教伝」が果たせなかった親孝行や供養をすることで災難から身を守り、現在では交通安全への願いが込められている。昭和53年に千体地蔵の建立が始まったといわれ、現在も那須町芦野の石工である櫛田豊さんの作で増え続けています。

今も、祈るためにあるような大きな手を掲げて、新雪の雪に埋もれながらも迷いのない顔で地吹雪にも微動だにせず祈り続けている地蔵の顔は優しさに満ちていました。

白笹掲示板

新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

なお、この度の東日本大震災で亡くなられました方々にご遺族の皆様にご挨拶と謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されました皆様には、改めて心よりお見舞い申し上げます。

また、現在も被災地で救助活動や復旧活動にご尽力されている方々に対しまして、深く敬意を表します。

当該別荘地は、その後の「白笹だより」でご報告させていただいておりますが、水道水の放射能検査を定期的に行い放射能物質の混入は検出されておられません。

今後もオーナーの皆様が安心して別荘地へ来ていただけるように、継続して検査を実施してまいります。周辺の放射能関係の情報と詳細は那須塩原市や環境省のホームページでもリアルタイムで公表しておりますのでご参考になさってください。

また、本年もオーナーの皆様が那須白笹で快適なリゾートライフが楽しめるようお手伝いいたしたいと存じます。何卒、お気づきの点がありましたら気兼ねなく連絡いただきたくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、オーナーの皆様の益々のご健康とご多幸を祈念し、また、雪解けの頃にお会いできることを楽しみに、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成24年 元旦

黒磯観光株式会社 代表取締役 楠 昭

エンジョイしています。別荘ライフ

今回は東京都三鷹市在住の長谷見さんに登場していただきました。



長谷見さんご夫妻

わが家が那須の別荘を求めてから早23年が過ぎました。別荘を持つきっかけは知人に「藤和の那須別荘」を勧められ、別荘関係の本を読んでいる時に白笹の広告が目にとまり、まずはそちらを見ておきたく思い訪れたところ、自然豊かな環境に大満足し、山の中なのに下水道完備という事も気に入る、その日のうちに決めてしまいました。最初の頃は、キツキが来て屋根に穴を開けられたり、畳一面に青カビが生えていて呆然としてしまったり、今まで体験した事が無い事ばかりでした。

私は冬の那須が大好きで雪の頃によく行っていました。この頃は足が痛むようになり10月の頃に「水抜き」を訪れるのが

最後になっています。以前コリーを飼っていた頃、大雪の時は別荘に着くと玄関まで犬に先に行ってもらい、後から主人が雪を踏み固めて道を作りました。もちろん、犬が玄関で体を震わせて雪を落とすので、玄関が雪だらけになったのは言うまで有りません。

シヤム猫の愛ちゃんを飼っていましたが、この猫はいつもリード無しで私たちと散歩をしている程馴れていたのですが、ある時東京に帰る日が朝から大雪になり、猫を後部座席に乗せ大急ぎで荷物を積み、管理事務所を過ぎたあたりまで来て猫が居ないのに気がきました。管理事務所の近くで高根沢さんに会い、訳を話すと「この雪ではこの車で家まで戻るのは無理だ」とおっしゃって、ジープで送って下さいました。猫の名前を呼ぶと「ニャーオ」と呼び返す声が聞こえ、ベランダの土台の上に寒そうに座っている愛ちゃんを見つけました。雪で前方が見えない位な悪天候の中、わざわざジープを出して頂き高根沢さんには心から感謝しております。

私はUFOに大変興味を持っており、東京や鎌倉で実際に見た事もありますが、最近5回目の遭遇が有りました。場所は管理事務所横の上空で、東から西にかなりの速度で移動しているのがはっきり見えました。お天気の良い日には、皆様も時々空を見上げたらUFOが見られるかも知れませんね。

那須で見られる山野草 ④ ザゼンソウ (座禅草)

雪解けの時期になるとひょっこりと顔をのぞかせる。かなり独特の形をしていますが、花弁の重なりかたが仏様の光背に似ていて、その中で坊主が座禅を組むような姿に見えることによってザゼンソウという立派な名前を持つことになったそうです。また、達磨大師の座禅する姿に見立てて、ダルマソウ(達磨草)とも呼ばれます。

低地～山地の湿地に生える多年草で、葉は2～7枚が根元から出ます。花は花弁のないたくさんの花が集まり棍棒状になっています。このような花の集まりを肉穂花序と呼んでいます。この花序を包む大きな苞が仏炎苞です。開花期は3月から5月でとても寒い時期です。また内部に発熱する部分を持っており、この熱と独自の臭いで昆虫を誘い寄せて受粉を行います。



▲ザゼンソウ

おいしい場所 お教えします

『とちぎ和牛ステーキハウス 吉左右』

〒329-2801 栃木県那須塩原市関谷 2024-8
TEL.0287-34-1511 FAX.0287-34-1512
営業時間 AM11:00～15:30 PM16:30～21:00
(20:00 ラストオーダー)

定休日 毎月第2、第4火曜日(シーズンにより不定休あり)

那須に行った帰り道、こんなステキなお店あったかなあ？と思いながら入ってみました。ライトアップされてて素敵な外観です。広々とした店内は雰囲気もゆったりとしていて、一息つけるお店です。大田原産和牛の極上ステーキ丼ととちぎ霧降高原牛を注文しました。お肉が柔らかくて、しかも甘いことにビックリ!! 脂もしつこくなくて気付けばペロリと平らげていました。ステーキのたれも、ガーリックペッパー・ワサビ醤油・ヒマラヤの岩塩が用意されており、存分に堪能することが出来ました。お店もキレイだし、店員さんも気遣い上手でとても素敵な時間を過ごさせてもらいました。

妻は、煮込みチーズハンバーグをいただきました♪ とってもジューシーなハンバーグにデミグラスソースとトロトロのチーズが乗っていて、最後の一口まで熱々のまま食べられたとのことでした。

栃木で育まれた美味しい和牛をゆっくりいただけるステーキハウスです。おすすめのステーキのほか、気軽に味わえるハンバーグ、ビーフシチュー、ステーキ丼、地物の那須鶏や那須豚を使ったメニューも人気らしいです。

